

広島ベトナム平和友好協会（HVPF）

発行責任者 河内 昌彦

編集責任者 赤木 達男

〒739-0024

東広島市西条町御菌宇6912

（Tel）082-423-7235

（Fax）082-423-8060

ホアビン

hoa binh

輝く一年となりますように



広島ベトナム平和友好協会
会長 河内 昌彦

新年 明けまして
おめでとうございます。

うつらかな良き新年をお迎え
のことと存じます。昨年も、多
くの方々に本会の諸事業、諸活
動にご理解とご協力を賜り、心
より厚くお礼申し上げます。

本年は申（さる）年です。
「申」の字は、いなすまを描い
た象形文字です。「のぼす」と
いう意味があります。皆さまに
おかれまして、輝く一年となり
ますよう、ご健勝とご多幸を記
念いたします。本会の活動も、
今年、飛躍する年として、より
一層邁進したいと考えている次
第です。本年も、本会の諸事業、
諸活動に、どうぞ皆さまのお力
添え、ご参加、ご協力を頂きま
すようお願い申し上げます。

ベトナム紀行

～人の心と活気にふれて～

歴史と伝統、文化のまちハノイ

昨年、12月にベトナム北部に
位置する首都ハノイに行く機会
を得ました。ベトナムのハノイ
の古い町並みには、固有の歴史
的、文化的、社会的そして建築
的伝統が保たれています。

その通りに立ち並ぶ瓦葺きの
伝統様式の3階建て住宅や商店
路地などでは沢山の人が行き交
い、物を売り歩く行商人の姿も
見られました。

道路ではシクロという自転車
を改良したタクシー、リヤカー、
行商人などが、多くのバイクや
種々の車とともに往来し、その
往来のなかを人々は足を止めず
にそれらを縫って横断します。
横断では、足を止めると危険で
事故にあう確率が高くなるとい
われています。道路上の交通量
があるなかの横断は、日本では
体験できないことで、というよ
り、やってはいけないことで、
ハノイでヒヤヒヤしながら横断

したことは印象的でした。バイ
クには4人乗りが認められてお
り、その光景も何度か目にし驚
きました。

シクロに乗車しホアンキエム
湖を一周。普段にない自然の風
の流れや爽やかさ、低い視線か
らのゆったりとした風景の移り
変わりも新鮮に感じ、心地良い
ひとときでした。

暮らしの中に息づく人々の絆
町中の路地の商店街などでは、
夕方になると、店や家の前の歩
行者用の路上の至る所で、食事
の準備が始まり、やがて家族や
友人などで食事をしている光景
も多く見られました。

食事では、ベトナムの有名な
食べ物であるフォーという米
でつくられた麺や鶏肉などがよ
く食べられているとのこと。
そつた町中の光景から、コミュ
ニティでの人々のつながりや絆



ホーチミンが暮らしていた家

の深まりの一面を感じたところ
です。これも伝統文化の一つで
しょう。

新旧文化の交錯が活力



であったことから町中に、ヨー
ロッパ風の建物も見られました。
ハノイの人々は、自らが創り出
しつつある新しい文化と並んで
祖先の文化の重要性にも気づい
ています。

今まさに新しい町も形成され
ていますし、その町の活力を伝
統的な要素と価値観のなかで感
じることができました。

ベトナムの建国の父といわれ
ているホー・チ・ミン廟の前には
広場があり、タイミンク良く
衛兵が交替する様子や、近くの
大きな樹木が点在する中に彼が
住んでいた家などもあり、それ
らを見学する機会を得ました。

そのすぐ近くには国会議事堂
や外務省など国の機関が点在し
ています。ハノイ市古い町管理
委員会と東京大学などにより、
ハノイの歴史的な正確を明らかに
する研究も行われた経緯があり
ました。

ベトナムがく しみん講座

第1講座～第講座
2015年7月～2016年3月

ベトナムがく＝ベトナムについて楽しく学び、友好の花を萇(がく)す
しみん講座＝智を求めて集い、お互いを支え合い、国際人を志す



第2講座(9月6日)
ベトナム(ベトナム)国(1)

講師は広島大学平和科学
研究センター助教の小倉亜
紗美先生。平安時代に阿倍
仲麻呂が漂着。3度目の元
寇を防いだバクダン川の闘
いでのベトナム軍の勝利な
ど、日本とベトナムの歴史
的な関わりを教わりました。



インド料理専門店「タン
ドール」のディパック店長
に「ネパール大地震」の
被災状況を聞き、支援の
必要性を痛感しました。



第1講座(7月19日)
今なお続く 枯れ葉剤被害

含む7500万リットルの枯葉
剤が、今なお深刻な被害を
もたしています。原爆被害
と枯葉剤被害、ともに戦争
被害です。核と化学兵器を
廃絶し、戦争のない平和な
世界の希求。
それは、ヒ
ロシマとベ
トナムの共通
の願いです。



周南記念病院名誉院長で
「国際医療協力山口の会」
会長の岩本功先生に講演
をいただきました。
米軍がベトナム戦争で散
布した猛毒ダイオキシンを

第4講座(12月20日)

ベトナム料理(ベトナム)講座

カンボジア & ベトナム料理専門店
「アプサラス」店長の張富裕子さんに、
「豚肉と卵の煮付け」など4品、教えて
いただき、美味しく賞味しました。
ポルポト政権の迫害からベトナムに
逃れ8年暮らした後、1987年来日。
その間の体験も話していただきました。
今年は「開店20周年」を迎えられます。



第3講座は、次ページの「被爆70年
ピースチャリティーコンサート」
(11月1日)でした。第5講座は、3
月27日に開講します「ベトナムって
どんな国(2)」です。

本酒が並んでいるだけ。2皆
のタイソーに入る。広い店
舗には充分存在価値があった。
都心に戻り市場を視察。どれ
を見ても安い。以前より探し



賀茂泉を手に交流を広める
翌朝はPALO社の幹部と
の商談となる。はじめは堅い
雰囲気だったが、だんだん
和やかになり、おおむね商談
は成立。午後はイオンモー
ルに向かう。高層ビル街の中
心部を通り抜け、旧市街地に
入りベトナムらしい雑然とし
た街並みを進むと別世界のイ
オンモールが建っていた。
建物の大きさの割には駐車
場が狭い。オートバイの国
なので納得する。冷房が効い
た館内は
快適で食
品売り場
の品揃え
も充実し
ている。
酒売り場
にはまだ
僅かな日
本酒が並
んでいる
だけ。2皆
のタイソー
に入る。広
い店舗には
充分存在価
値があった。
都心に戻り
市場を視察
。どれを見
ても安い。以
前より探し

一年前に原稿を頂きながら、事務局の
不手際で掲載が一年遅れになり、寄稿
いただいた前垣様には大変ご迷惑をおか
けしました。心からお詫言ひ申し上げます。
文中の日付は原文のままとして
おりますので2014年です。重ね重
ねお詫言ひ申し上げます。(赤木達男)

賀茂泉を片手にベトナムを
起点として、今後の交流を広
めたいと強く思っている。

第8回「テトを祝う会」ご案内

と き 2016年2月7日(日)
午前9時から
ところ 御園宇地域センター

◇参加費 ・ベトナム人＝500円
・日 本 人＝一般:2,500円
学生:1,500円

◇プログラム
第1部 日本&ベトナム「エンジョイ文化体験(9:00～)
(日越の伝統的な遊び、手回しオルゴール、南京玉
すだれ、餅つき)
第2部 祝、2016年「テトを祝う会」(12:30～)
(美味しく・楽しく、歌・踊・ゲームなど)



お申し込みはお早めに! (電話)082-423-7235
(Fax)082-423-8060

「奨学支援活動」にご協力ください

ヒロシマとベトナム 重なる願い、つながる心
クアンチ省は中部地域の旧南北ベトナム国境線に位
置し、ベトナム戦争が最も激しく戦われ、今なお枯葉剤
や不発弾による深刻な被
害が続いています。

クアンチの人々は「核
兵器も化学兵器もない平和な世界」を願うとともに、
「ヒロシマの体験と未曾有の惨禍から復興を遂げた広島
に学ぼう」という強い思いを持っています。平和で豊か
な未来を創造する人間の力は教育によって養われます。
しかし、あまりにも大きな負の遺産を抱えるクアンチ省
の教育環境は充分ではありません。特に少数民族の子
どもたちは能力も意欲もありながら就学できない状態です。

月額1,500円の奨学支援

これまで140名の子どもたちに総額、約700万円
支援しました。現在、第5期～第7期奨学生60名が学
んでいます。今年、第5期奨学生(3学年)が卒業し、
第8期奨学生(1学年)20名を迎えます。この子たち
20名を支援するサポーターの募集を始めました。
卒業までの3ヶ年の支援は、月額1,500円×12ヶ
月×3ヶ年＝54,000円で、毎年
18,000円づつ徴収しています。

ともに戦争による悲惨な体
験を持ち、願いを同じくする
クアンチ省の子どもたちの
〔夢と希望、そして可能性〕
をかなえるために、ご協力く
ださい。



奨学金贈呈式で挨拶する友保
副会長。(2015年10月21日)

編集後記

2015年は「ベトナム
がく しみん講座」や「被
爆70年ピースチャリティー
コンサート」など、例年に
増して多彩な活動を展開し、
大きな成果を得ました。
それらは会員はもちろん
ですが、多くの市民・学生
ボランティアの皆さんのご
協力のおかげです。ありが
とございました。
今年も、「テトを祝う会」
を皮切りに、出逢い、相互
理解、支え合い、多文化共
生を担う国際人を志す活動
に、皆さまのお力をお貸し
ください。(赤木)

入会のご案内

ベトナムとの草の根市民交流の
促進をめざし、「会員拡大」を取
り組んでいます。ベトナムに関わ
りや興味のある方、ボランティア
や国際交流に関心がある方、是
非、ご入会ください。

会費 ・個人会員 3千円(年)
・法人会員 1万円(年)